



令和2年度
第3回
横浜市立大口台小学校
学校運営協議会

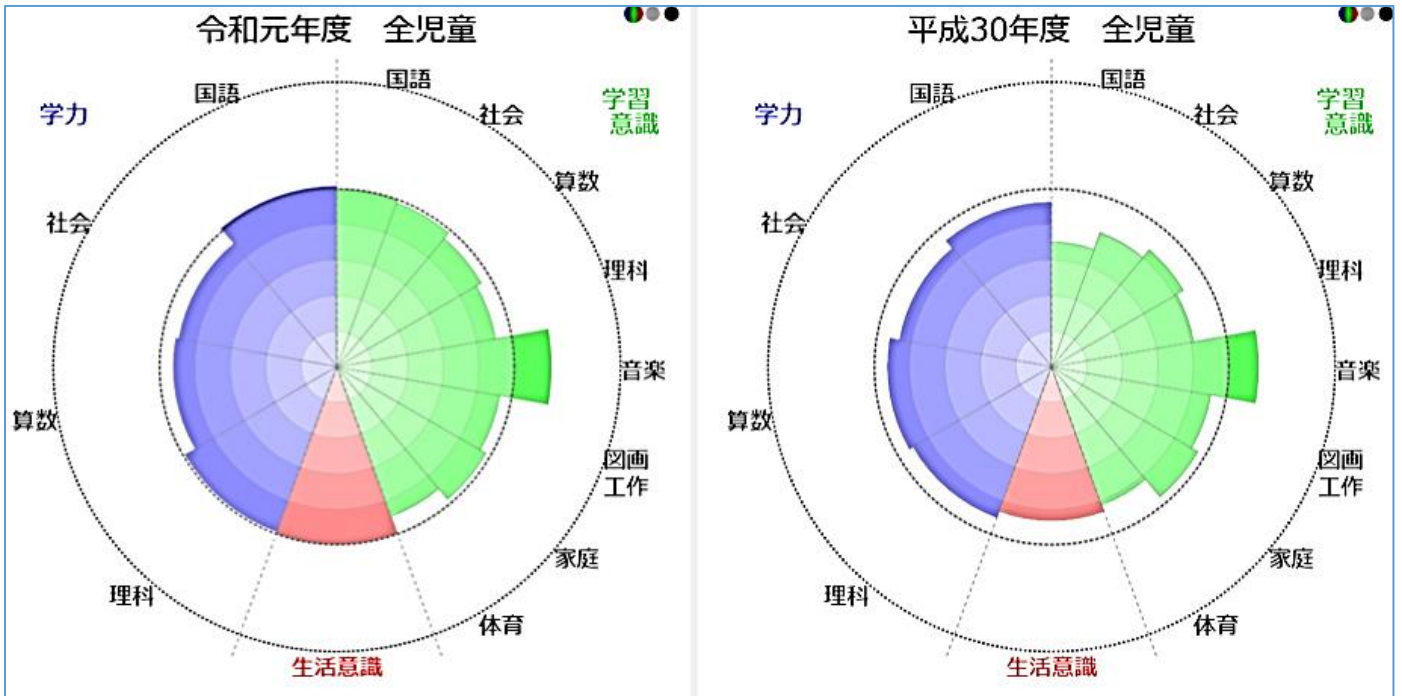
《日 時》 令和2年11月19日(木) 16:00~
《場 所》 横浜市立大口台小学校 4階 多目的・国際教室

会次第

- | | | |
|--|-------|------------------------|
| | 《進 行》 | 副校長 |
| 1. 校長挨拶 | | 校 長 |
| 2. 委員長挨拶 | | 委員長 |
| 3. 【研修】学校運営協議会について
横浜市教育委員会事務局学校教育企画部 学校支援・地域連携課 主任指導主事 | | |
| | 《進 行》 | 委員長 |
| 4. 【報告】 | | |
| (1) 横浜市学力・学習状況調査結果 | | 教諭【学力、特別支援教育担当】 |
| (2) 令和2年度 校内重点研究 | | 教諭【研究推進委員長】 |
| (3) 体育・健康プラン | | 教諭【体育主任】 |
| (4) いじめ防止基本方針 | | 主幹教諭【児童支援専任】 |
| (5) 学校評価アンケート項目について | | 主幹教諭【児童支援専任】 |
| (6) 令和2年学校行事等について | | 主幹教諭【教務主任】 |
| (7) 遠足・運動会保護者アンケート結果について | | 主幹教諭【児童支援専任】 |
| 5. 【協議】 | | |
| ○ 令和3年学校行事等の見通し | | 主幹教諭【教務主任】
教諭【体育主任】 |
| 6. 意見交換・懇談 | | |
| 7. 閉会 | | 副校長 |

1 令和元年度 横浜市学力・学習状況調査結果

① 学力調査 全体チャートの変容から

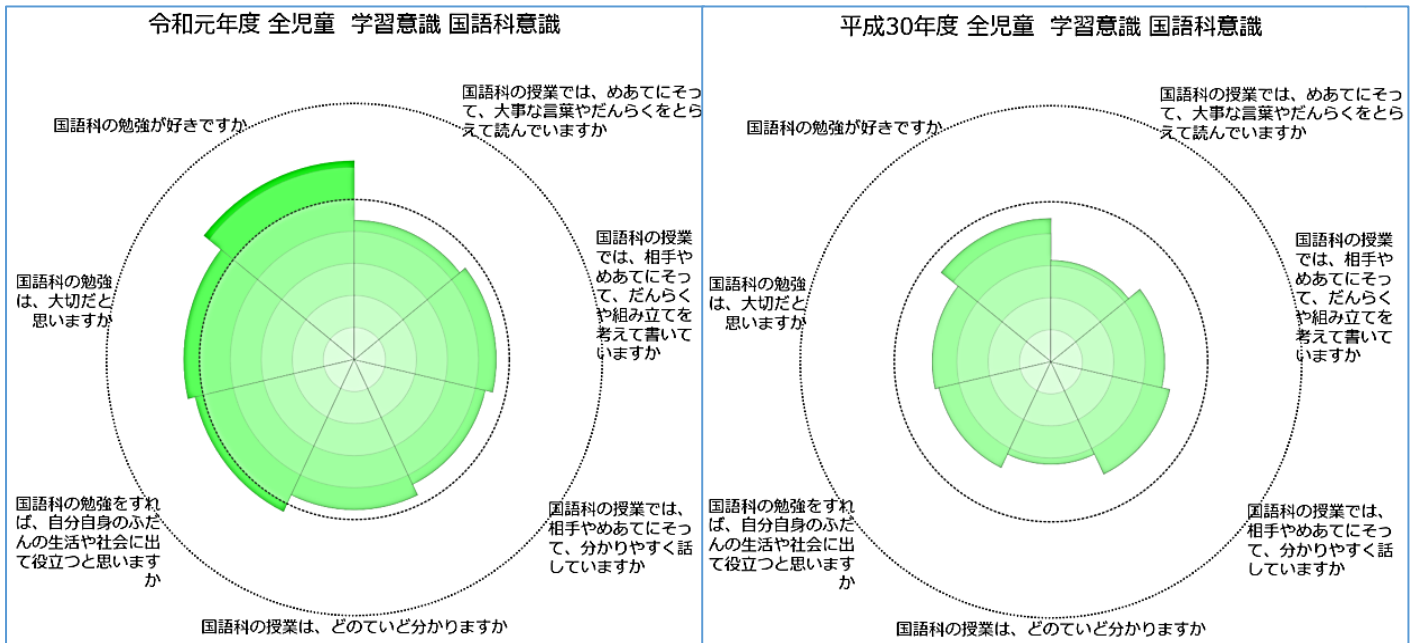


左側が昨年度、右側が一昨年度の結果で、内側の円が横浜市の平均となっています。

一昨年度と比較して、ほぼ全ての教科における「学力」「学習意識」の伸びに加えて、「生活意識」も高まっていることが分かります。

次に、「学力」「学習意識」の伸びが共に大きかった、国語科の結果について見ていきます。

② 国語科 学習意識の変容から



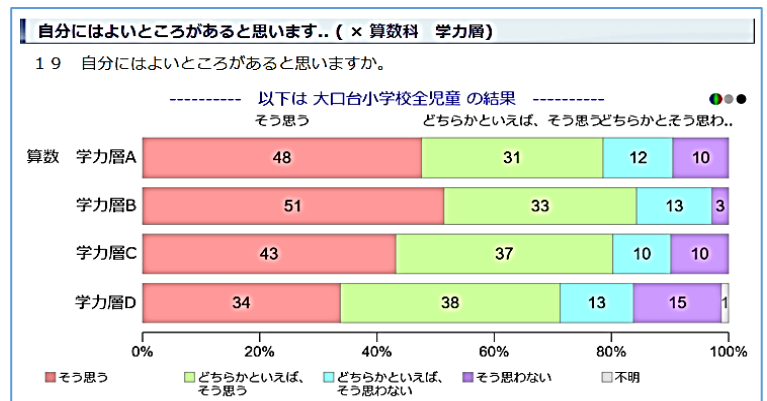
どちらのチャートもよく似た形になっており、一昨年度と比較して全体的に意識が高まっていることが分かります。「読むこと」「書くこと」「話すこと」に関する意識が、全体的に高まったことで、学習内容の理解が深まり、「国語の勉強が大切だと思う」「国語の勉強が好き」に繋がったのではないかと考えます。

③ 「自分にはよいところがあると思いますか。」の結果から

「自分にはよいところがあると思うか。」について、算数の学力層別に表したものとなっています。

比較的学習を得意とする A 層、B 層の子どもたちほど、「自分にはよいところがあると感じている」ことが分かります。

大口台小では、「自分にはよいところがあると感じている」ことを自己肯定感と捉え、子どもたちの自己肯定感を高めることができる授業づくりに取り組んでいます。

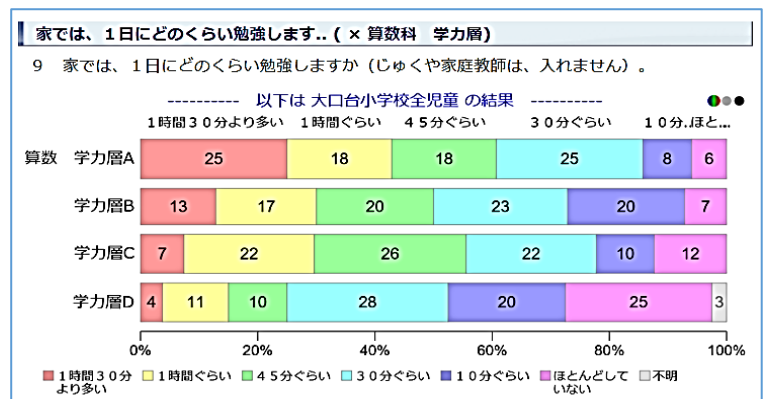


④ 「家では、1日にどのくらい勉強しますか。」の結果から

「家での1日の勉強時間」について、算数の学力層別に表したものとなっています。

学力層の A と B の子どもたちほど、勉強時間が長くなっていることが分かります。

基礎学力の定着には、家庭の力も重要になってきます。宿題をはじめ、家庭学習に粘り強く取り組む子どもたちを温かく見守り、励ましの声をかけていただければと思います。

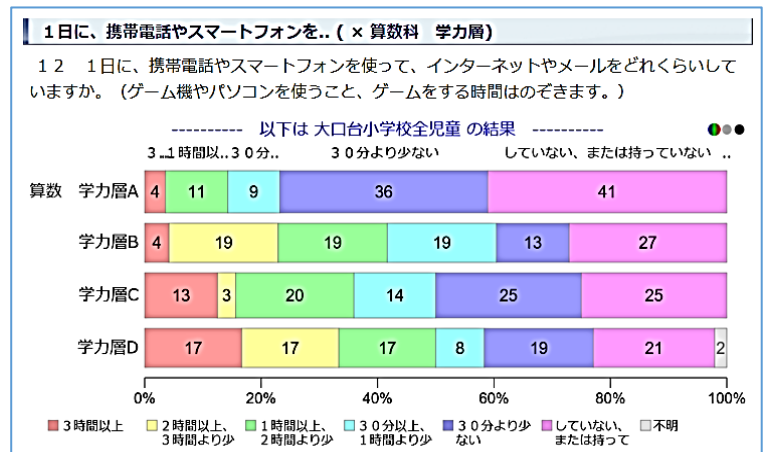


⑤ 「1日に、携帯電話やスマートフォンをどのくらい使っていますか。」の結果から

「携帯電話やスマートフォンの使用時間」について、算数の学力層別に表したものとなっています。

スマートフォン等の使用時間が長くなるほど、学力層の C と D の子どもたちが占める割合が増えていることが分かります。

使用時間をはじめ、スマートフォン等の使い方について、今一度ご家庭でルールの確認をお願いします。



最後に、学校と家庭が連携し、子どもたちの学習環境が改善されることで、「できた」「分かった」と感じる子が増え、子どもたちの自己肯定感も高められるのではないかと考えます。

引き続き、ご協力よろしくお願ひいたします。

【学校だより・家庭向けのお知らせより】

2 令和 2 年度 校内重点研究

① 研究テーマ

自己肯定感をもてる子どもの育成 ～教師の支援と授業のあり方～

《研究テーマ及びサブテーマ、教科設定の理由》

学校教育目標「わくわくトライ 大口台」

自ら進んで学び続ける子・・・知
相手を思いやり、自分を大切にできる子・・・徳
心身ともに健康でたくましく生きる子・・・体
人やまちとのつながりを大切にし、ともに未来をつくる子・・・公、開

小中一貫教育の取組

〈課題解決力〉 〈自尊感情〉 〈コミュニケーション〉

- ・ 目指す資質・能力を基盤に、学習への積極的な参加、適切な言語表現、確実な知識・技能の定着を図る。
- ・ 礼儀や規範意識を身につけ、自他へ思いやり、やさしさを行動に表せるようにする。
- ・ 地域に暮らす者として、自覚と責任のある行動と感謝の気持ちをもてるようにする。

本校は、上記の学校教育目標のもと、4つの子ども像を掲げ、様々な教育活動を行っている。また、神奈川中学校ブロックの取組として3つの視点をもち、子どもの育成に関わってきた。学校教育目標に掲げる子どもの姿の実現には、自己肯定感が子どもの根底にあることが必要であると考えられる。

研究テーマに掲げる「自己肯定感」はあらゆる教育活動の中で育まれるものであるが、重点研究で取り上げることで、自己肯定感を育む方法、そしてその自己肯定感の高まりをとらえていく方法について教職員で共通理解し、学校全体で子どもの成長を支えられるようにしていきたい。

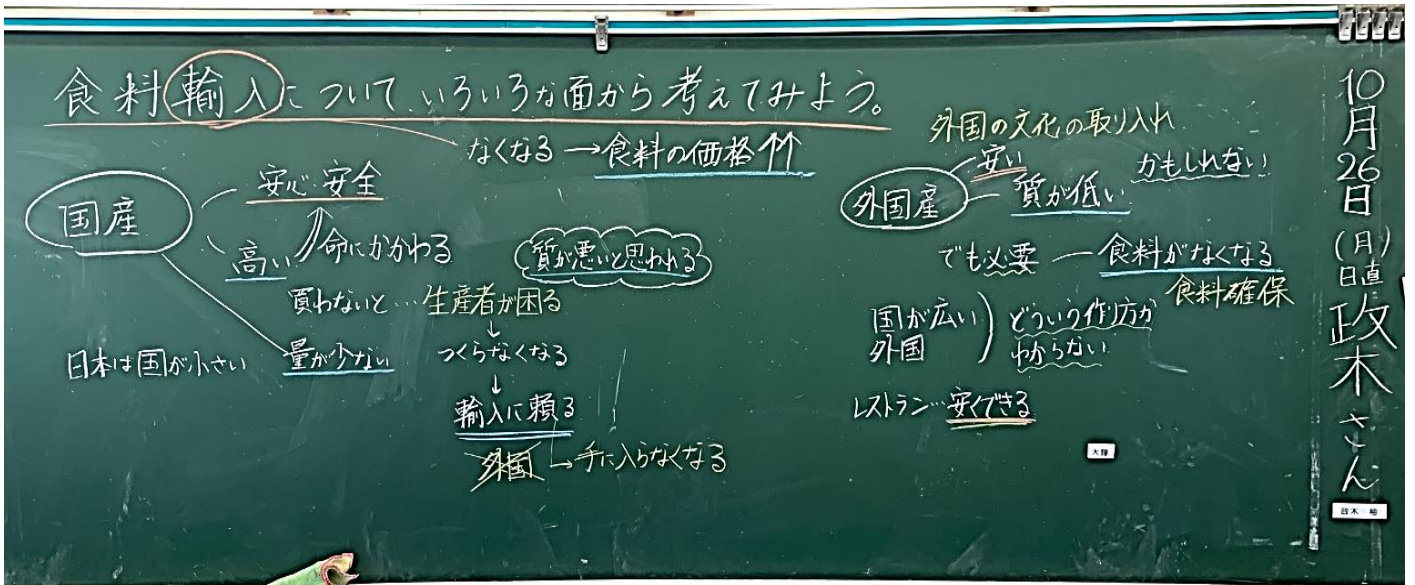
本校の研究では、子ども一人ひとりが自分自身を大切だと感じ、自らを肯定的に捉えることを目指していく。また、自分を見つめ、自分のよさを認められるようにすることで、自己を満ち、他者を肯定的にとらえられるようにしていきたい。今までの、自己肯定感のとらえを基に、子どもたちがよりよく学べるように研究を進めていく。

自己肯定感をもてる子どもの育成を目指していくが、なかでも、3つの視点に基づいた手立てから自己肯定感を高めるための支援のあり方、授業・単元展開の流れ（型）について議論を重ねていく。教師が適切な手立てを施すことで、子どもの「学校って、楽しい！好き！」「わかった！友達と教え合える！みんなと楽しみを共有できる！」「苦手でもアドバイスできた！聞いてもらえた！授業中に居場所がある！」を演出することで、いきいきと授業参加でき、自己肯定感をもてるようにしていく。

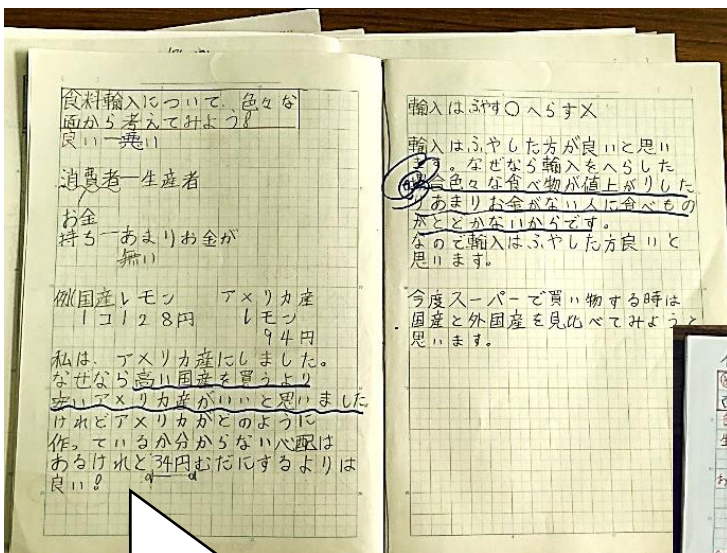
②【実践】5年生 社会「これからの食糧生産」

子どもがもっている知識を活用して自分の生活にどのように生かしていくか、その判断の部分の思考の部分として見とれないか考えてみました。自分の考えを友達との意見交流で変えていく子も出やすい学習内容ではないかと思えます。

- 子どもが得ている知識（今までの学習で）
- ・日本の食糧自給率が低く、輸入に頼っていること。
 - ・国産の物は値段が高く、輸入の物は値段が安いということ。
 - ・輸入を拡大すると日本国内の生産者が困ること。
- など・・・



食糧輸入を良い・悪いと決めつけるのではなく、いろいろな面から見るといろいろな考えをもっていました。「生産者・消費者」「お金がある人・生活が苦しい人」「食材の違い」「家で食べる・外食する」などなど・・・

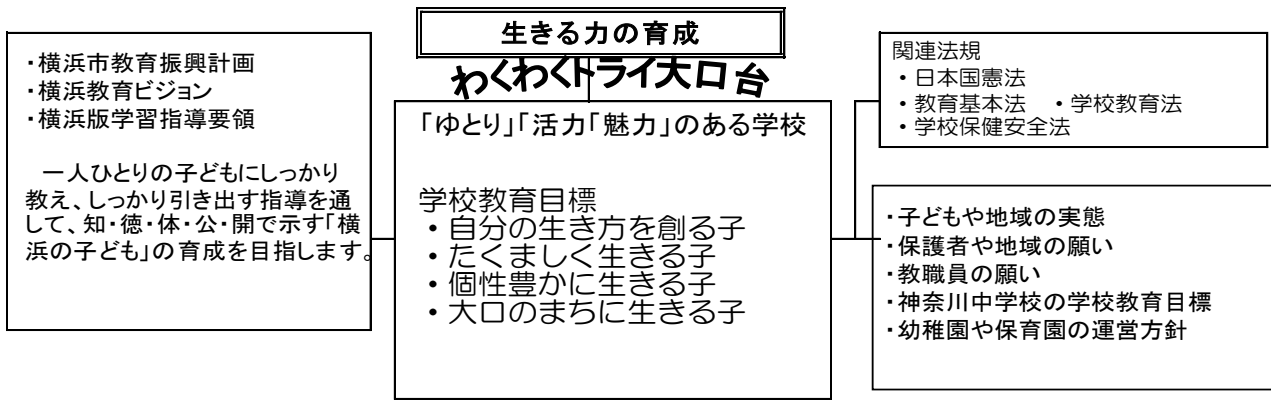


それぞれの良い・悪いを自分なりに整理して考えている子もいました。それぞれの良さを考えると、どっちつかずになるのもありなのではないかと思ってしまうました。

輸入の物は安全性に疑問があるという考え方をもっていた子が、お金があまりない消費者の目線になると別の考え方も出てきました。



3 体育・健康プラン



健康教育目標					
<p>○健康で安全な生活を知り、自主的に実践することのできる能力や態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体力を知り、進んで体力づくりに励む子ども ・自分の健康状態を知り、進んで健康づくりをする子ども ・安全な行動のしかたを知り、落ち着いた生活のできる子ども ・良いマナーで栄養のバランスのとれた食生活を送ることができる子ども ・自己を肯定的にとらえ、いのちを自分で守ることができる子ども 					
低・中・高学年別重点目標					
	体力向上	学校保健	いのちの学習	学校安全	食育(学校給食)
低学年	進んで友だちと仲良く運動遊びができる子ども	手洗い・うがい・歯みがき等が進んでできる子ども	いのちをまもる方法を知り、自分や友だちのからだ大切にすることを育てる。	身の回りの整理整頓や正しい廊下歩行ができる子ども	好き嫌いをなく給食を食べられる子ども
中学年	自分の体力を知り、目標をもって運動に取り組む子ども	自分の健康の様子を知り、健康に気をつけて生活できる子ども	一人一人の成長には、個人差があるということを知り、お互いを思いやる態度を育てる。	けがの防止の方法を知り、安全な行動をする子ども	正しい食事のマナーを守り、好き嫌いをなく食べられる子ども
高学年	生活と運動について知り、自主的に体力の向上を目指す子ども	生活と健康について知り、進んで健康な生活を営む子ども	自己肯定感を高め、自他の生命を尊重する態度を育てる。	校内・外の危険を予測し、安全な生活を営む子ども	栄養のバランスを考え、豊かな食生活を営む子ども

☆ 体育科学習

◎**体育科目標**

- 豊かな心の育成
- 健康でたくましい体の育成
- 国語力及び学習の基礎的能力の育成
- コミュニケーション能力の育成
- 情報社会を生き抜く能力の育成
- 社会の変化に対応する能力の育成
- ☆年間を通じた体力向上タイムの取組

☆ 健康課題の学習

◎**食に関する指導目標**

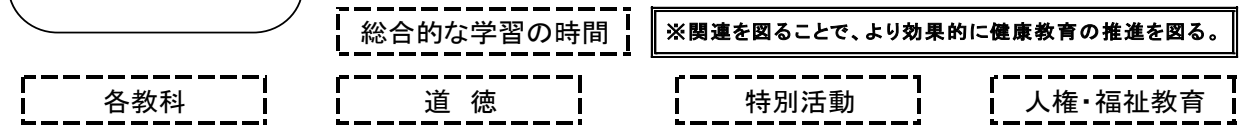
- ①食事の重要性
- ②心身の健康
- ③食品を選択する能力
- ④感謝の心
- ⑤社会性
- ⑥食文化

☆低・中・高学年の発達段階に応じた食教育の目標の実現に向けて取り組む

◎**心身の成長に関する指導目標**

児童の人格の完成を究極の目的とし、豊かな人間形成に資するため、人間の性を人格の基本的な部分として総合的にとらえ、科学的知識を理解させ、児童が生命尊重、人間尊重、男女平等の精神に基づいた異性間を持つことによって、自ら考え、判断し、意志決定をする能力を身につけ、望ましい行動をとれるようにする。

横浜の時間



<その他の教育活動>

○児童が健康で安全な生活が送れるよう、役割を分担し約束を守るようにする。

- ・朝の健康観察
- ・清掃活動
- ・給食
- ・ロング昼休み
- ・施設設備の安全点検
- ・健康教育に関する掲示等

<学校保健委員会>

○各年度に合わせてテーマで、年3回実施

- ・各クラスでの話し合い
- ・校医の方々との連携

<保健室>

○健康教育センターとしての機能の充実

- ・保健情報の収集、資料の整備
- ・保健指導
- ・けんこうファイルの作成

<家庭・地域・関係機関との連携>

○専門性のある方々を積極的に学習に招聘する。

- ・区役所、福祉保健センター等との連携
- ・保護者ボランティア

○学校からの啓発活動を行う。

- ・学校だより、保健だより、給食だより、ホームページ等

4 大口台小学校いじめ防止基本方針

策定 平成26年3月25日

改訂 平成30年2月 1日

改訂 令和 2年2月18日

1. いじめ防止に向けた学校の考え方

(1) いじめの定義

「児童に対して、当該児童が在籍する本校に在籍している等当該児童と一定の人的関係にある他の児童が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童が心身の苦痛を感じているもの」（文部科学省定義による）

(2) いじめ防止等に向けての基本理念

「横浜市のいじめ防止等の対策に関する基本理念」

全ての子どもは、かけがえのない存在であり、社会の宝である。子どもが健やかに成長していくことは、いつの時代も社会全体の願いであり、豊かな未来の実現に向けて最も大切なことである。

子どもは、人と人との関わり合いの中で、自己の特性や可能性を認識し、また他者の長所等を発見する。互いを認め合い、誰もが安心して生活できる場であれば、子どもは温かい人間関係の中で自己実現を目指して伸び伸びと生活できる。しかし、ひとたび子どもの生活の場に、他者を排除する雰囲気が形成されれば、その場は子どもの居場所としての機能を失い、いじめを発生させる要因ともなりかねない。子どもにとって、いじめはその健やかな成長への阻害要因となるだけでなく、将来に向けた希望を失わせるなど、深刻な影響を与えるものとの認識に立つ必要がある。

「横浜市のいじめ防止等の対策に関する基本理念」を受けて、本校では、いじめは、全ての児童に関係する問題であると考えます。いじめの防止等の対策は、全ての児童が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにすることを旨として行われなければならない。

また、全ての児童がいじめを行わず、いじめを認識しながら放置することがないように、いじめの防止等の対策は、いじめが、いじめられた児童の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であることについて、児童が十分に理解できるようにすることを旨としなければならない。

加えて、いじめの防止等の対策は、いじめを受けた児童の生命・心身を保護することが特に重要であることを認識しつつ、学校、地域住民、家庭その他の関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを目指して行われなければならない。

2. 「学校いじめ防止対策委員会」の設置

<委員会の構成員>

組織の構成は、校長・副校長・教務主任・児童支援専任・（いじめが発生した）学年職員・養護教諭、必要に応じて、心理や福祉等の専門家、外部の関係機関で構成する。

<委員会の運営>

- ① 月に一回以上開催し、いじめ事案への調査・対処。指導・指導方針を決定する。

② 校長は、学校として組織的に対応方針を決定するとともに、会議録を作成・保管し、進捗の管理を行う。

<委員会の活動内容>

● 未然防止

- ・ いじめ防止のため、いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくり
- ・ 学校いじめ防止対策委員会の存在及び活動を児童及び保護者に周知

● 早期発見・事案対処

- ・ いじめ相談・通報窓口の設置
- ・ いじめの早期発見、事案対処のため、いじめの疑いに関する情報や児童の問題行動などに係る情報の収集と記録、保有
- ・ いじめ（「疑い」を含む。）を察知した場合には、情報の迅速な共有、関係児童に対するアンケート調査、聞き取り調査等により事実関係の把握といじめであるか否かを判断
- ・ いじめを受けた児童に対する支援、いじめを行った児童に対する指導の体制、対応方針の決定と保護者との連携といった対応を組織的に実施

● 取組の検証

- ・ 学校いじめ防止基本方針に基づく年間計画の作成・実行・検証・修正
- ・ 学校いじめ防止基本方針における年間計画に基づき、いじめ防止等に係る校内研修の企画と計画的な実施
- ・ 学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して適切に機能しているかについての点検と学校いじめ防止基本方針の見直し（PDCAサイクルの実行を含む。）

3. いじめの未然防止、早期発見・事案対処

(1) いじめの未然防止

「いじめはどの子供にも起こりうる」という基本認識に立ち、いじめの未然防止に向けて、児童が、心の通じ合うコミュニケーション能力を育み、規律正しい態度で授業や行事に主体的に参加・活躍できるような授業づくりや集団づくりを行う。児童自らがいじめを自分たちの問題として考え、主体的に話し合うことができるよう支援する。

また、いじめの防止の観点から、豊かな心の育成のための、学校教育活動全体を通じた包括的な取組の方針や教育プログラム、例えば人権教育年間計画や道徳教育年間計画等に、年間を通じたいじめへの対応に係る教員の資質向上のための取組計画等を具体的に盛り込む。加えて、「子どもの社会的スキル横浜プログラム」等の活用により、集団の一員としての自覚や自信を育むことにより、互いを認め合える人間関係・学校風土をつくる。

さらに、教職員の言動が、児童を傷つけたり、他の児童によるいじめを助長したりすることのないよう、指導の在り方に細心の注意を払う。

(2) いじめの早期発見

いじめは大人の目に付きにくい時間や場所で行われたり、遊びやふざけあいを装って行われたりするなど、大人が気づきにくく判断しにくい形で行われることを認識し、些細な兆候であっても、いじめではないかとの

疑いを持って、早い段階からの的確に関わりを持ち、いじめを隠したり軽視したりすることなく、いじめを積極的に認知することに努める。

このため、日頃からの児童の見守りや信頼関係の構築等に努め、児童が示す変化や危険信号を見逃さないようアンテナを高く保つ。いじめの早期発見を徹底する観点から、児童に関する情報や対応を共有していく。

あわせて、学校は「いじめの定義」の理解、「砂時計ノート」への記録、「砂時計タイム」での各ブロックの情報共有、いじめ解決一斉キャンペーン、定期的なアンケート調査、相談カードの活用、児童相談日の実施等により、児童がいじめを訴えやすい体制を整え、いじめの実態把握に取り組む。

さらに、インターネット上で行われるいじめに対しては、関係機関と連携し、学校ネットパトロール等から状況を把握し、早期発見、早期対応に努める。

また、情報モラル教育の推進による児童の意識の向上及び保護者への啓発に努める。

(3) いじめに対する措置

いじめの疑いがあった時点で特定の教員で抱え込まず、いじめ防止対策委員会を中核として速やかに対応を検討し、被害児童を守り通すとともに、加害児童に対しては、当該児童の人格の成長を旨とする教育的配慮のもと、毅然とした態度で指導する。

被害児童に対しては事情や心情を聴取し、児童の状態に合わせた継続的なケアを行う。

加害児童に対しては、事情や心情を聴取し、再発防止に向けて適切に指導するとともに、児童の状態に応じた継続的な指導及び支援を行う。これらの対応について、いじめ防止対策委員会に報告・相談し、学校の組織的な対応につなげ、教職員全員の共通理解、保護者の協力、関係機関・専門機関との連携の下で取り組む。

なお、「いじめ」が暴行や傷害等犯罪行為にあたりと認められる場合や、児童の生命、身体または財産に重大な被害が生じる場合などは、直ちに警察に通報して、被害児童を守る。その際は、学校での適切な指導・支援を行い、被害者の意向にも配慮した上で、警察に相談し、連携して対応していく。

(4) いじめの解消

いじめの解消に向けて、いじめの被害にあっている児童の様子を毎月のいじめ防止対策委員会で報告し、対応方針を話し合っていく。

《いじめの解消の要件》

少なくとも次の2つの要件が満たされている必要がある。

- ① いじめの行為が少なくとも3か月（目安）止んでいること
- ② いじめを受けた児童が心身の苦痛を感じてないこと

(5) 教職員等への研修

全ての教職員の共通認識を図るために、少なくとも年に一回以上、いじめをはじめとする児童生徒指導上の諸問題等に関する校内研修を行う。

(6) 学校づくり懇話会*の活用

「学校づくり懇話会*」や青少年の健全育成を目指す「中学校区学校・家庭・地域連絡協議会」等を活用し、いじめの問題など、学校が抱える課題を共有し、地域ぐるみで解決する仕組みづくりを推進する。

(7) 取組の全体計画

年間計画の主な活動内容

月	取組内容	
4月	○ 年間計画と重点指導内容の確認・引継ぎ、いじめの定義・児童理解研修	
5月	○ 子どもの社会的スキル横浜プログラムによる学校生活アンケート実施	・実態把握
7月	○ 個人面談 ※ 学校生活のふりかえりカードを活用する。 ○ 横浜子ども会議（中学校ブロックでの話し合い）	・実態把握
夏休み中	○ 教職員研修	
11月	○ いじめアンケート②実施	・実態把握 ・具体的な対応策の検討 ・課題と成果の洗い出し
12月	○ いじめ解決一斉キャンペーン（人権週間） ○ 個人面談 ※ 学校生活のふりかえりカードを活用する。	・実態把握
1月	○ 子どもの社会的スキル横浜プログラムによる学校生活アンケート実施	・実態把握 ・来年度への引継準備
2月	○ いじめ防止対策の点検・見直し	
年間	○ いじめ防止対策委員会（月1回・随時）	

4. 重大事態への対応

(1) 重大発生の定義

【重大事案の定義】

ア) 「生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑い」

イ) 「相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑い」

※ 「児童生徒や保護者からいじめられて重大事態に至ったという申し立てがあったとき」

(2) 発生の報告

学校は、重大実態が発生した場合（疑いを含む）は、直ちに教育委員会に報告する。

5. いじめ防止対策の点検・見直し

いじめに対応する組織体制や対応の流れについて、年に一回点検し、必要がある場合は、横浜市いじめ防止基本方針を含めて見直しを検討する。

5 学校評価アンケート項目について

【令和2年度 横浜市立大口台小学校「学校評価」保護者アンケート】※横浜市電子申請システムを利用

日頃より、大口台小学校の教育活動のご協力ありがとうございます。

本校では、学校教育目標の具現化に向けて、「わくわくトライ大口台」を合言葉に、中期学校経営方針に基づき、教育活動を進めているところです。

今、学校では開かれた学校づくりを一層推進し、「信頼される学校づくり」の実現に向け、日々の改善に取り組んでいます。保護者のみなさまに「学校評価 保護者アンケート」にご協力いただき、今年度の振り返りを行い、次年度の教育活動につなげていきたいと思っております。

アンケートの回答にあたっては、年間を通した評価をご記入ください。また、お子さんの人数分の回答が可能です。その際には兄弟・姉妹での入力を別々に行ってください。

次の質問について、あてはまるものを選択してください。

(1) 学校は、工夫して楽しい授業を行っている。

- 専科教諭による授業や中・高学年の教科担任制の実施。
- タブレットやデジタル教科書などによる ICT の活用によるわかりやすい授業への取組。
- 全教員の授業研究会の実施による授業力・指導力向上。
- 身近な教材を取り入れた授業実践。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(2) 学校は、子ども一人ひとりに応じた学習指導を充実させている。

- 中学年の算数少人数指導の充実。
- 特別支援「スマイル教室」「国際教室」の設定。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(3) 学校はいじめや差別に対応し、安心できる学校づくりに努めている。

- 児童支援専任を中心とした児童指導組織によるいじめの早期発見・早期対応。
- アンケートの全校実施やだれでも入れられる相談箱の設置。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(4) 学校は感染症対策をふまえ、安全な学校行事となるように計画している。

- 感染リスクを減らすための宿泊行事の特別遠足への変更や授業参観・懇談会の設定。
- 種目や入場の制限を行った運動会の実施。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(5) 学校は、子どもの生命や人権を尊重する態度を育てようと、気持ちのよい言葉の指導をしたり授業を行ったりしている。

- 教職員自らが進んで挨拶したり、気持ちのよい言葉遣いをしたりする。
- 盲特別支援学校と連携した人権教育活動。
- いじめや差別をなくすための、人権の授業の実施。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(6) 学校は、手洗いやソーシャルディスタンス、換気など子どもたちができる感染症対策に取り組んでいる。

- 手洗い・換気・ソーシャルディスタンスを意識させる掲示物の工夫。
- 積極的な換気や座席配置、マスク着用などの衛生管理の指導。
- 手洗いについて各学級で目標を設置し、取り組んでいる。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(7) 学校は、休業や再開についての情報を家庭や地域にいていないに連絡し、積極的な情報発信に努めていた。

- 休業や再開等のお知らせの配布と同日の保護者へのメール配信、学校ホームページの更新。
- 町内会の協力による地域の掲示板の利用。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(8) 学校は、不審者侵入などへの防犯、避難訓練など災害に対する防災教育を行っている。

- 全校で集まることが難しいため、学年や校舎のフロアごとの避難訓練の実施。
- 校内の安全・衛生管理のため、1階部分以外の保護者を含めた来校者の入校の制限や、昇降口の施錠。
- 職員の不審者研修の実施。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(9) 学校は、内外の清掃や美化環境に努めている。

- 技術員による校舎壁の塗装と校庭の木々の剪定などによる環境整備。
- 毎日の職員による会談・廊下の清掃と消毒作業。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(10) 学校は、施設、設備の整備に努め、安全な教育環境を整えようとしている。

- 毎月の校内の設備・安全点検の実施。
- 教室等の点検箇所の職員や業者による修繕の必要物品の取り付け。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(11) 学校は、教育活動に関する情報をわかりやすく提供している。(学校説明会・ホームページ・学校だより等)

- 学校要覧、年間予定表などの配布。
- 学校全体の時程や行事の変更などのお知らせを入れた学校だよりの配布。
- 全学年の懇談会での学校教育活動の説明。
- 学校の日々の様子や学校からの配布物を載せた学校ホームページの更新。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(12) お子さんは、教員に話したり、相談したりしやすいと言っている。

- 学級担任のほか、学年担当、専科教諭、児童支援選任、養護教諭、学校長、副校長など。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(13) 保護者は、お子さんについて、教員に相談したり要望を伝えたりしやすい。

- 学級担任のほか、学年担当、専科教諭、児童支援選任、養護教諭、学校長、副校長など。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(14) お子さんは、友達や教員、地域の人に進んであいさつをしている。

- 登校時、下校時、学校内、地域の公園等で。
- 学校職員、地域の見守り隊、PTA、保護者、学級・学年・他学年の友達等。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(15) お子さんは学習した内容を理解している。

- プリント・ノート・テストの解答や記載内容、音読や宿題の取組の様子など。

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

(16) 宿題は学習習慣の定着に役立っている。

- 日々の課題（音読、スキル、プリント、漢字練習、自主学習等）
- 休業中の課題（自由研究、スキル、読書、観察記録等）

【 あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 】

◆ 学校よくするために、ご意見がありましたらお書きください。

【自由記述】

6 令和2年度の各行事について 《宿泊体験学習・修学旅行、運動会、卒業式ほか》

1. 予定変更について【令和2年7月30日配布】

泊を伴う行事

令和2年度4・5年生宿泊体験学習、6年生日光修学旅行…中止

各学年「特別遠足」《日帰り》に変更

なお、6年生日光修学旅行については、本来の日程が延期され、代替日程が**2月6日(土)・7日(日)**と提示されました。この日程では卒業に向けての時期やインフルエンザ等の流行、またコロナ禍の第2波等の懸念もあるため、日程を繰り上げ、比較的安定した気候の秋季に「泊を伴わない独自のプログラム」を実施します。また、この日程で実施できなくなった場合「卒業アルバム」に写真が掲載できないことも考えられます。10月に独自で催行できると写真や作文も残すことが可能です。

4~6年生特別遠足

学年 方面(候補地)	主な立ち寄り場所・活動(予定)	日程	備考
4年 愛川・宮ヶ瀬	宮ヶ瀬ダム(見学) あいかわ公園 服部牧場	10月7日 (水)	宿泊体験学習で予定していた場所での活動を中心に計画。
5年 大房岬・富浦漁港	大房岬公園ウオークラリー 富浦漁港地引網体験 おさかなバーベキュー	10月9日 (金)	宿泊体験学習で予定していた場所での活動を中心に計画。
6年 箱根周遊	箱根関所跡見学 寄木細工体験 芦ノ湖遊覧	10月6日 (火)	県内(箱根)の名所や旧跡を中心に巡る。

子どもたちを集団で、安心・安全に活動させるには、「集団で宿泊すること」「食堂等で対面で食事をとること」「集団での入浴すること」が、感染拡大防止に対応できないことがわかりました。しかし、その部分を除けば、子どもたちが楽しみにしていたこれらの行事を縮小や行先変更をして実施可能と判断しました。

令和2年度運動会…縮小・日程変更 令和2年10月21日(水)

※雨天順延 1・2年生10:00~ 3・4年生9:00~ 5・6年生11:00~

子ども同士の接触・密接がある競技・演技を見合わせ、徒競走と学年演技で開催します。平日の開催、給食提供をし、ご家庭の参観も可能としますが、その際には、密集しないようにご協力ください。午前中を「中学年」「低学年」「高学年」の三部に分けて時間を区切って開催します。6年生は、最高学年として運動会の運営面でも活躍します。なお、「徒競走(50m)」はコース幅をじゅうぶんに取り、全員に記録証を授与します。

令和2年度卒業式…日程変更 令和3年3月25日(木)午前

今までとは違う日常の連続で、特に6年生は駆け足で卒業を迎えてしまうような気がします。そこで、少しでも余裕をもって学校生活を過ごすために、卒業式の日程を延期します。なお、1~5年生の修了式は3月26日(金)に行います。

令和2年度校内音楽会…中止

体育館に全校の子どもたち、参観のみなさまが集まることの感染リスク、それまでの練習のことも考慮しました。

令和2年度校内作品展…開催※縮小

例年通り、12月の面談時期に合わせて体育館で開催します。図画工作科の学習を中心とした作品を展示し、子どもたちは「鑑賞」をします。地域の方、盲特別支援学校、近隣の幼稚園保育園の参加は、お控えいただきます。

授業参観…学年別に分散開催 懇談会…時間差で開催

たくさんの来校者が集中しないように、全学年同じ日の設定だった参観日を中止し、学年ごとに日程を再設定します（9月～1月の間）。教室での授業ではなく、視聴覚室、体育館、特別教室など広い教室等を使用する予定です。同じく、懇談会も学年ごとに時間をずらし、日程は予定通りで開催します。

- **授業参観**…9月～1月の間に、学年1回の授業公開をします。
日程は「9月学年だより」でお知らせします。
- **懇談会**…9月11日（金）、3月4日（木）に時刻を以下のように分散して実施します。
1・2・3年 14:00～ 4・5・6年 15:00～ 4・5組 14:30
会場・内容については各学年よりお知らせします。

地域とのかかわり、行事への参加

日頃から、地域と連携した教育活動を行ってきましたが、事態の状況から今年度の活動を見合わせます。次年度以降、状況の好転を期待し、またお世話になると思います。

ご家庭で地域とのかかわり（買い物やまちの特徴など）について話題にしていただけると助かります。

大口通商店街「納涼夜店」…中止

3年生;大口通商店街「お店体験」…中止

4年生;たちばな会「ふれあい昼食会」…中止

合唱部;神奈川中「ふれあいコンサート」…中止

4年生;盲特別支援学校との交流…中止

2. 実施の行事の様子

4年 愛川特別遠足に行きました



4年生の愛川特別遠足です。宿泊するはずだった愛川ふれあいの村の周辺の宮ヶ瀬ダムの見学、あいかわ公園の散策、服部牧場での体験などを行いました。宮ヶ瀬ダムの放流は行っていませんでしたが、やはり間近でダムを見る迫力とインクラインで下っていく楽しさが感じられたようです。あいかわ公園で少しの時間でしたが、遊ぶことができ、お弁当もおいしくいただきました。服部牧場では乳しぼり体験やえさやり体験をしたあとに、おいしいソフトクリームを食べました。最後に雨が降ってきましたが、体調を崩すこともなく全員で元気に過ごすことができました。この体験を次の学年でも生かしてほしいと思います。

5年 大房岬特別遠足での活動です



5年生は大房岬へ特別遠足に行きました。台風の到来による安全を考慮して、本来なら宿泊する予定だった大房岬自然の家での活動を行いました。「台風が来た時に大房岬に宿泊した学年が何年前か前にあります。『台風で地引網ができなかったけど、楽しかった』と卒業式の呼びかけが入っていた。天気に負けずに楽しめたとと言えるようにしよう。」という先生の言葉で出発した遠足です。自然の家では、貝を利用してのウィンドチャイム作りやとても貴重なプラネタリムの視聴を行いました。昼食は地引網ができなかったのでバーベキューがなかったですが、お弁当を元気においしそうに食べていました。帰る前に、大房岬の中をぐるっと散策したり、富浦漁港にバスで立ち寄りしたりしました。行きも帰りも軽い渋滞に合いましたが、子どもたちはあまり気にせず、DVDの選択じゃんけんや高速からの景色に盛り上がっていました。

ズーラシア遠足に出発



1・2年生がズーラシア遠足に出発しました。交通渋滞があり、少し出発が遅れてしまいましたが見送りの職員に元気に手を振って出発していました。12時前に、午前のプログラムが終わり、お弁当とおやつを食べました。曇ってきましたが、元気な子は半そで動き回っていました。2年生と1年生が合流し、午後のプログラムを行いました。予定していたプログラムをすべて楽しむことができました。バスに乗って、ズーラシアを出発し1年生は、14時30分頃着、2年生は45分ごろ到着しました。たくさんの動物を観ることができ、広い場所で遊ぶこともできて、とても満足そうに学校に戻ってきました。

6年 箱根特別遠足に出発



10月6日 6年生が箱根特別遠足に出発しました。いつもより少し早い集合時刻でしたが、当日の朝に集める承諾書もきちんと持参し、予定通り出発することができました。仙石原のススキの中を通り、湯気の立ちこめる大涌谷に到着しました。大涌谷に予定よりも少し早く着くくらい順調なようでした。バス酔いも見られましたが、今は全員が元気に見学したそうです。寄木細工の体験、箱根の関所やジオミュージアムの見学を行いました。

日帰りの遠足となりましたが、箱根を教材として理科や社会、総合の時間をつかって学習してきました。GO TOキャンペーンにも該当し、クーポンの利用ができて、家族へのお土産の時間もありました。6年生で行く遠足として、最後まで楽しく過ごしてきました。帰校への行程も順調で、16時30分に学校に到着しました。

3年 民家園で一日過ごしました 新着



川崎の生田にある日本民家園に3年生が遠足で行きました。社会で昔のもの（30年前、60年、100年前）を学習していきます。横浜にも古民家はあるのですが、これほど多くは残っていません。20棟以上もの古民家が集まっていて、周りにビルなども見えないので、まるで遠い地方や昔に行ったような気分させられました。子どもたちは「トトロの世界みたい」と言っていました。茅葺の家、干し柿がつるしてある軒下、井戸、外にある便所、かまどや土間や囲炉裏のある屋内など、どこの家にも見られないものばかりでした。大口台小学校からもバスで30分ほどで着くので、体調が崩れることなく元気に一日過ごしていました。民家園内は時計を見てのグループ活動、お弁当を楽しんだ後は、緑地で元気に遊びました。帰りのバスの中も音楽を聴いて過ごしたり、指遊びをしたりしてゆったりと過ごしていました。

スポフェス2020 学校長あいさつ

今年に入ってからの新型コロナの影響で実施が危ぶまれましたが、本日運動会スポーツフェスティバルを開催できることに喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。スポーツは「する」「見る」「支える」、この3つで成り立っているといえます。今日の主役はみなさんです。力いっぱいこのいい姿を見せてください。今回の運動会は65周年記念大会でもあります。PTAからはぐっこソーランの法被もそろえていただきました。10年前に大口台小学校から全国放送されたラジオ体操に3・4年生が取り組みます。1年生から6年生までのキラキラの姿を期待しています。この運動会を運営するにあたり、飯野PTA会長をはじめとした本部役員、各委員のみなさん、学校地域コーディネーター山本さん、岡井さん、ボランティアスタッフのみなさんのお力をお借りしています。また、感染症対策として、子どもたちはマスクを徒競走ではスタート直前に外してゴールで付ける。演技の時には対面にならないような構成にしてマスクを外しても構わないことにしています。参観のみなさまにはご理解をいただきますようお願いいたします。会場には、参観ゾーンと子どもゾーンがあります。互いが交わることのないよう、子どもファーストをお願いします。参観のみなさまも決して密にならないよう、大人の対応をしてください。よろしく願います。

スポフェス 中学年の部



中学年は団体演技でラジオ体操を行いました。地域の前田さんに教えていただき、手足、指先の動きまで意識した美しいラジオ体操をめざして練習をしてきました。入場行進からきびきびとした動きで、全体でそろえることを大切にしました。第1だけでなく、幻と言われたラジオ体操第3も演技しました。

2010年、今からちょうど10年前に大口台小学校にてラジオ体操の全国放送が行われました。コロナ禍の前には、毎週のようにやっていた大口台のラジオ体操がこのように出てくることに何かつながりを感じます。

運動会の日5時間目 新着



各学年の演技や50m走が終わった後に、閉会式が行われました。開会式もそうですが、当初は放送室からのテレビ中継だったため、参観を予定していませんでした。閉会式に参加した低・中学年、開会式に参加した全児童については保護者の皆さまに見ていただくことができませんでした。お知らせなどでも明記していなかったため、混乱させてしまい申し訳ございませんでした。どの児童も自分の言葉を堂々と言うことができていました。閉会式後に保護者の皆さまにご協力いただき、校庭の片付けもとても早く終わることができました。ありがとうございました。

お弁当ではなくて給食を食べ、5時間目に50mの記録証を受け取り、運動会のふりかえりをしました。4年生は自分が一番がんばった場面を絵に表していました。6年生は学年でふりかえり、今年度初めての最高学年としての行事の仕事に満足感を得ていたようです。

スポフェスに向けて① 6年生の役割



スポフェスに向けて、6年生が準備を行っていました。放送係が原稿の練習を行ったり、ゴールテープの練習を行ったり、低・中学年の誘導係が動いてみたりしていました。スポフェス当日、6年生は、1日運営に携わります。6年生が学校の行事にどのようにかかわっているのか、他の学年の時間にもご覧になっていただけたと思います。

スポフェスに向けて② 5年生の役割



5年生がスポフェスに向けて、当日の運営ではなく、当日までに盛り上げる工夫をしています。4色のマスコットキャラクターを決定し、旗を作成したり、ポスターを作成したりしていました。入場口や、スポフェスの表示なども作成していました。この旗はソーラン節にも登場する予定です。

スポフェス 低学年の部



低学年は、世界中の国に関するダンスを行いました。最後に踊った曲は2年生の実行委員が中心になって考え、手本となって1年生に伝えました。どの子どものダンスが大好きで、休み時間にも教室で踊っている場面を多く見ました。

50m走は、1位を目指すのは当然のことですが、スポフェス当日にタイム計測を行うので、ベスト記録を出せるかどうか、も注目してほしいところです。練習の時に計測したタイムよりも0.1秒でも早くなっていたら（覚えていたら）ほめてあげてほしいと思います。

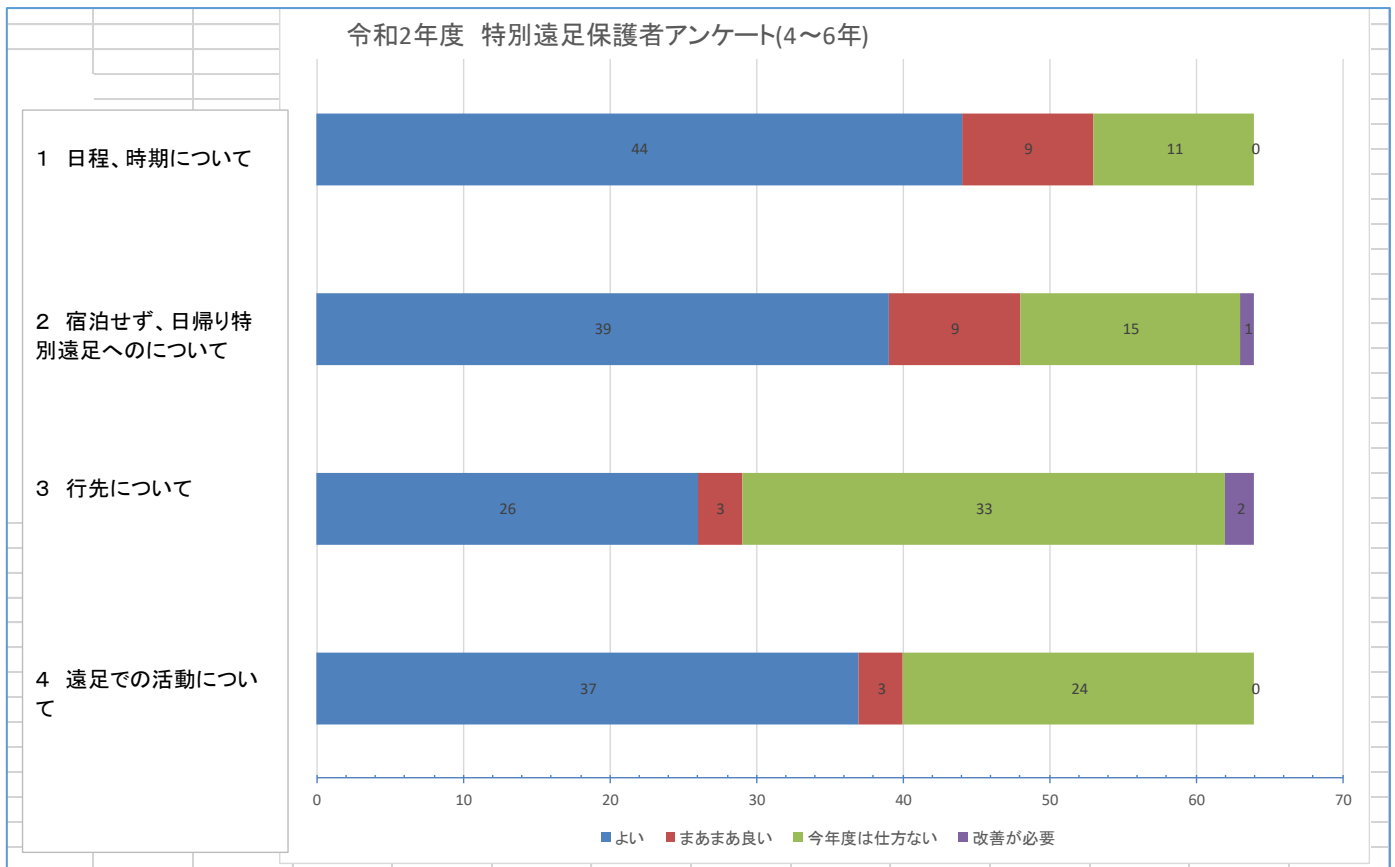
スポフェス 高学年の部



高学年はぐっこソーラン、伝統の黒法被。デザインは同じですが、今年度は65周年を記念のリニューアルされた法被です。掛け声は出せない、隊形移動はできない、どうしたら例年以上のソーランにできるか。法被の下に着た4色のカラーシャツ、4色に分かれた隊形、できることを工夫し、子どもたちも先生たちも悩みながらアイデアを取り入れてきました。

5年生も教室から気合十分。低い構えの気持ちの入った演技でした。観覧席だけでなく、リモート中継されている教室やろうかの窓、ベランダからも声援を受けて高学年のソーランが行われました。

7 特別遠足・運動会 保護者アンケート結果について



◆ 特別遠足 保護者アンケート 記述

○：肯定的な意見

●：改善点・要望

【6年】

- 実施できて感謝。(6)
- 箱根遠足へ行けて喜んで笑顔で帰ってきてくれた。(2)
- 子ども達の思い出作りができてよかった。(2)
- 気分も晴れたようで良かった。
- 6年生になって初めての外での集団行動、班での行動が出来て良かった。
- 様々な面で安全を考慮した内容で子供も楽しめて良かった。
- 近隣の小学校では何校か泊まりで開催しているところもある中、できなかったのが残念。(2)
- 泊まりで行っている学校もあるのでそれを聞いてしまうと日帰りか泊まりかの希望アンケートがあってもよかったとも思う。
- 宿泊はやはり、色々な体験という意味では、出来るようになったら行って欲しい。
- 学校到着してからの終わりの会での司会の子達の声が全く聞こえなかったのが残念。内容が全くわかなかった。

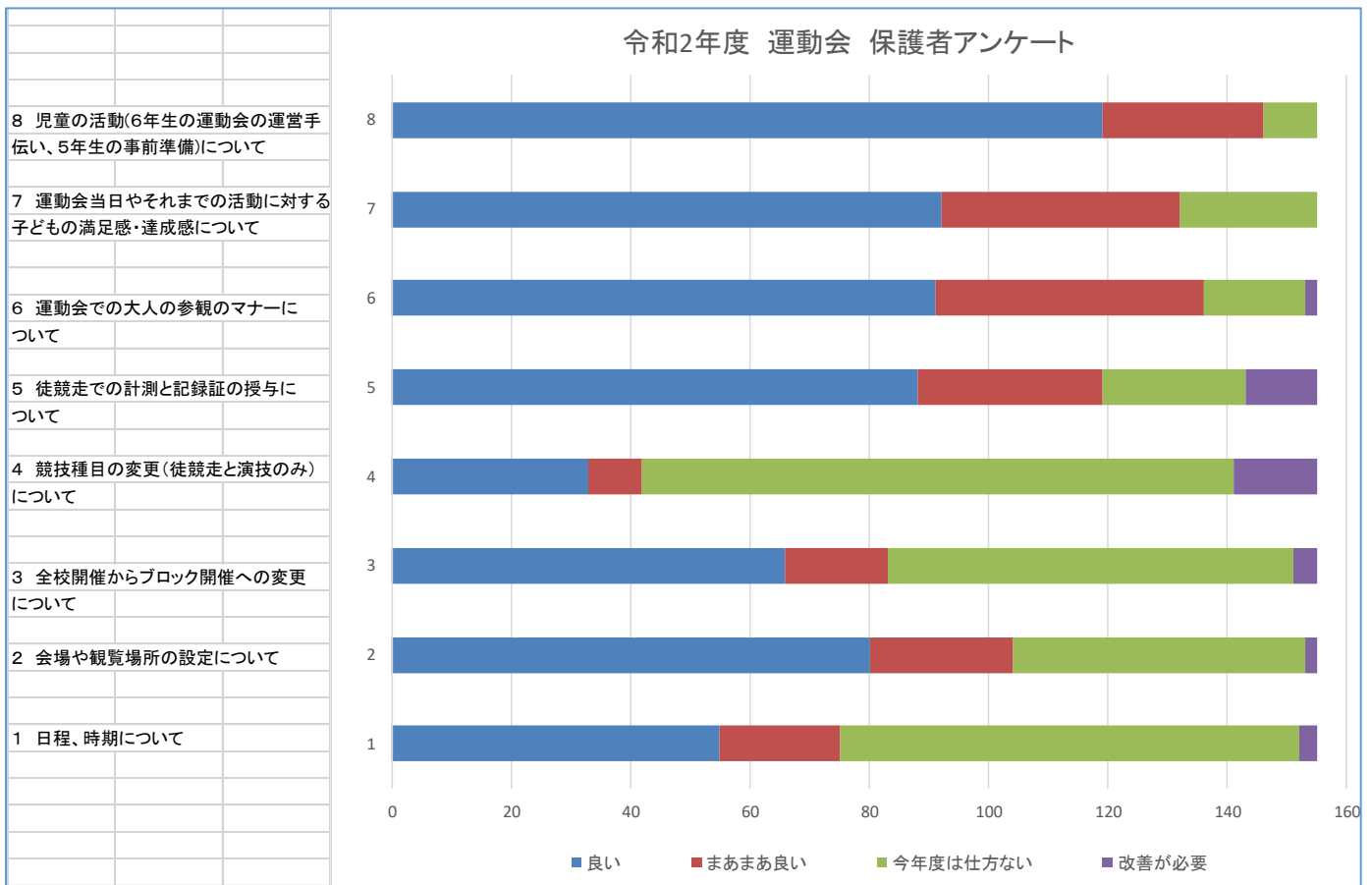
【5年】

- 実施できて感謝。(4)
- 今日の遠足はとても楽しかったと言っていた。(2)
- 宿泊と同じような体験をできるように考えてくださりありがたかった。(2)
- 校長先生判断で宿泊から日帰り日程に変更して頂いたので安心して送り出せた。
- 台風で中止になってしまうのではと心配したが、実施できて良かった。

- 帰宅してすぐに「とても楽しかった！」とその一言に親としては満足。
- コロナで制限ある生活の中、課外授業実施を決断してからの過程で先生方にはたいへんな気苦労があったと思う。
- 今年は状況をみても仕方がなかったと最後は納得していた。
- 日帰り遠足になっても地引き網体験がくみこまれていた点が良かった。
- 来年からは宿泊体験ができるよう願っている。
- 地引網をするには10月だと少し寒い気がする。
- 台風時期は避けた方がいいと。
- 場所は、千葉ではなく同じ神奈川県内（三浦）ではどうか（2）
- 雨天では地引網もBBQもメインが全て中止になってしまったのは残念。（4）
- 雨天の際にも、屋根などある場所ならBBQは出来たのだろうか。
- 今回はあいにくの雨でメインの活動が何も出来ず、子供はかなり物足りなかったようだった。作ってきた作品もすぐ壊れてしまった。

【4年】

- 実施できて感謝。（13）
- いろいろ対策をしていただき、今できる最善策だったと思う。（4）
- 難しい時期だったが、日帰りでも遠足にいけないよかった。（2）
- いろいろな経験が出来て楽しく過ごせてよかった。（2）
- とても嬉しそうに帰宅しました。（3）
- 子どもはとても楽しみにしていた。（2）
- 4年生の思い出になった。（3）
- コロナ対策をしながらでも「凄く楽しかった！」と子どもから聞いたこと、話しが止まらない程のエピソードトークがあったこと、それだけで親子共々大満足。
- この時期に行けて良かった。
- ソーシャルディスタンスの為、バスの着席位置配慮により数名が補助席利用する事となった事に交通上の安全面少々心配な面があったが、その点について事後連絡いただきましたので安心した。
- 兄弟と比べようと思えばいくらでも比べられるが、前に進むことを大切にしているので、「今」を精一杯楽しめることを考えて行動することにしている。
- コロナ禍の中、制限されることもありましたが、不安を抱えながらの宿泊は先生方も児童も危険だったと思う。
- 1ヶ月前から遠足をととても楽しみにしていた。行事のもたらず、日常とのメリハリの大切さを改めて感じた。
- 『宿泊から遠足へ変更された意図のお手紙（7月末配布）』を目にすることができ安心した。また、夏休み前の発表もお手紙をベースに、親子で話し合える時間が十分にあり助かった。
- 家庭でも健康管理に気をつけたい。
- 先生方の無理の無い範囲で、楽しみながらまた素敵な案をプレゼンしてほしい。
- あと一、二時間帰宅が遅くなってもよかったのでは。
- 本人はアイスを急いで食べて、バスが補助席で帰りは酔ってしまったようで、ゆっくりアイス食べたかったと言っていた。



◆ 運動会 保護者アンケート 記述

○：肯定的な意見

●：改善点・要望

【子どもの姿】

- 子供達の頑張りや成長が伝わってきた。感動した。(12)
- 子どもたちの思い出になった。・楽しんでいた。(3)
- 6年生は最後の運動会なので、係活動で出番があったのはとても良かった。(3)
- 家でも楽しみにしている様子が伝わってきた。(2)
- 高学年の児童が1年生が並ぶ位置を、距離を保てるように自分の足で地面に線を引いてあげているのを見て、よく面倒を見てあげているんだなど感激した。
- 高学年のお手伝いを肌で感じ、ソーランを廊下から見て家でソーランを真似する姿を見ると、つくづくたてわり活動の大切さを感じた。来年度の運動会への期待を持って終わられたので嬉しい。
- 今年は、種目が少なく残念そうでしたが、家でも音楽を流して踊ったり、1年生に教えてあげるんだ！と張り切っていた。昨年上級生に優しく教えてもらったり、一緒に競技をした事が、ちゃんと身についていたのかと思う。
- 行事があると、日常における子どもの気持ちにメリハリがつき、改めて行事の大切さを感じた。
- 子どもが、今までの運動会と変わらず一生懸命取り組み、終了後も満足感、達成感が得られていた。妥協した印象を持たせず、モチベーションを保てるような指導のおかげである。
- 全体的に子どもたちの姿を見て、日頃からのマスクやソーシャルディスタンスを徹底的に指導され、定着していることがよく分かった。
- 子どもは、最初は種目が少なく残念そうでしたが、準備をがんばっていたように思う。
- 制限がある中どんな形にしても開催でき、子供の気持ちはスッキリと区切りをつけられたと思う。
- やはり、運動会というのが例年人が見ている場という認識があったためか、何となく寂しそうだった。

【開会式】

- 開会式や閉会式を参観できるか否か連絡して欲しかった。参観できるようにしてほしい。(3)
- 開会式に最初のブロックの子ども参加があってもよかった。

【演技・低学年】

- 運動会のダンスを、家でも楽しみにしていた。練習していた。(3)
- 演技は隊形移動がなかったため撮影がしやすかった。(2)
- 授業の合間を縫って練習したと聞いていた演技も、みんなが本当に素晴らしくとても楽しめた。
- 子供たちはダンスに徒競走に全力で取り組んでいてひたむきな姿にとっても感動した。(2)
- セリフの内容も選曲もユーモアがあってダンスもとても素敵だった。(2)
- ダンスはただ踊るだけではなく、セリフもありコロナ対策として吹き替えになっていた事もとても素晴らしいと思った。
- 1年生に教える機会が嬉しかったようだ、
- 1・2年生はただただ可愛かった。
- 最初から後ろ側は後ろの観客席側を向いていてくれると嬉しかった。演出の都合もあるかと思うが。
- 演技の時に、始まるタイミングが分かりずらかった。
- 1・2年生も後ろと前とで向きを分けてもらえたら密にならずもっと見やすかったと思った。

【演技・中学年】

- (ラジオ体操) 第三は新鮮だった。(2)
- たかがラジオ体操、されどラジオ体操！とてもいいものを見せていただいた。
- 演技の向きは保護者が見えやすく工夫されていて良かった。
- 少ない種目でしたが親として楽しめたし、子供も嬉しそうにラジオ体操第3をしていた。
- ダンス演技がラジオ体操なのに少し寂しさを感じた。(3)

【演技・高学年】

- 4色手づくりTシャツ良かった。(3)
- ソーラン節が見られてよかった。感動した。(2)
- 5・6年生のソーランは4方向に向いていたので、密にならずゆったりと見れてよかった。
- ソーラン節を見たかった。(2)
- ソーラン節の声なしが寂しく感じた。来年もこの状況が続くならクラス単位にしてスペースを十分とるなどしてやってあげてほしい。
- ソーラン節は、口だけのシールドなどでぜひ掛け声を付けてもらいたい。

【徒競走について】

- 記録証は、記念にもなるし、今のタイムも分かってとてもよかったと思う。(4)
- 徒競走のスタート合図が、鉄砲音ではなく、笛と旗の合図で良かった。
- 徒競走で校長先生の音声は BGM の音楽と重なりゴール付近では聴き取りにくかった。(スタート、中央付近は大丈夫だった。)
- 順位をつけてほしい。
- 徒競走は学年に応じた例年通りの距離が良かったと感じた。4年生で50mは物足りない。昨年との成長の比較、カーブの面白さが無かったことが原因。
- 50メートル走も5・6年生には距離が短い。
- 50メートル走ではなく、学年ごとかクラスごとのリレーはコロナ対応可能か？そっちの方が運動会ならではの競技だと思う。
- コースを2か所用意したりするなどできると、より分散できてよかったのかなとも思う。

【その他 プログラム】

- 少し呆気なく思った。あと、1, 2種目参加して欲しかった。(2)
- リレーが無かったのは残念。是非来年はお願いしたい。(3)
- うちの子どもに限ってですが、競い合う方が運動会らしいと言っていた。リレーもなかったなので、この感想かとも思う。
- 6年生が保護者に向けてお礼を伝えるのであれば、徒競走→演技の方が良かった気がする。

【マナーについて】

- 三脚 NG だったはずだが、お使いの方がいて残念。
- 人との間隔が取れない状況の時には出来るだけ会話は控えめにしたいと思った。(終始話し続けている人がいたので)。
- 学年ごとの入れ替え制で、集中して見る事が出来て良かった。
- 譲り合って撮影することができた。
- 新しい様式という形での開催でしたが、競技も密にならぬ様、さまざまな工夫があり、子供たちもマナーを守っていて感心した。
- 児童たちも保護者も距離を保ち、静かに演技をしたり観覧したりできていた。

【開催方法について】

- 2学年ごとのお弁当なしの短時間開催は、生徒と保護者の負担も減るし、混雑せず、ゆったりと自分の子供の競技を見られるので、毎年このような形でもよいのではないかと感じた。(5)
- お弁当の心配が無いのが本当にありがたかった。(3)
- 平日開催でよかった。(2)
- 規模を縮小し平日開催で仕方ない(2)
- 給食があって良かったが、仕事を延期の分まで休みをとるのが難しかったので(晴れたので良かったのですが)、土曜日開催でも良かったと思う。(子どもにお弁当を持たせるなどして)。(2)
- 平日、人数制限の上で通常の運動会と同じ形式で開催したほうが良かったと思う。
- 運動会後の授業は無くていいと思いました。代休を復活してほしい。
- 人数が減った分、盛り上げか寂しかった。保護者の拍手や音楽などで周囲からも盛り上げられればよかったかも。

【参観について】

- 低、中、高学年のブロック開催は密にならず観覧もしやすく良かった。コンパクトで待ち時間少なかったのはよかった。ゆったりと観覧することができた。(19)
- 今後も毎年、保護者のみの参観でよい。昼食を取る場合ゆとりが出る。子供が探しやすく演技もとても見やすかった。(2)
- とてもよく対策されていて三密にならずに参観することができてとても安心だった。(2)
- 平日開催は、保護者の観覧人数制限無く見られたので良かった。
- 学年ごとの観覧もしょうがないと思った。
- 保護者だけでなく「同居している家族」まで観覧可能だとお良かった。
- 子供は上級生の競技を観覧できるといい。上級生から刺激を受ける機会が減るのは残念。
- 一家族三人まで来れるのでしたら、親子共に特別な存在であるばれっとの指導員の方々は呼んでほしかった。(→参観されていました)
- 参観できるのは、父母だけなのかその他家族(親戚など)も可能なかわからず、戸惑ったのでもう少し詳しく伝えて頂けるとよかったと思う。
- 参観は保護者だけとありましたが、人数に制限がなかったので、対応がよくわからなかった。
- 直前に配られたプリントの内容で人数制限が設定されたように取れてしまい、保護者間で混雑が起きた。

- 映像配信や you tube 中継など有ればウイルスなど気にせず観覧できる。ただ、映ってよいなど事前に承諾をとったり、セキュリティの問題などあるが前向きにご検討頂けると幸いである。
- 自分の子供の学年以外の時間は保護者が入場出来なかったために、運営係の仕事をしている子供の姿を見ることが出来なかったため、そこは大変残念。

【会場について】

- 競技中の学年の保護者のみが入れるゾーンがあってよかった。
- 徒競走ではゴール付近が、密だった。(3)
- 50m 走のゴールラインから観覧席までが近すぎた。観覧エリアはサイドのみに設けるのがよいと思った。(2)
- 徒競走ではゴール位置に参観する人が集中しすぎていたため、あまり見えなかった。学年ごとに入れ換えをしてほしかった。
- 学年ごとの保護者のみしか観覧席に入れないなどのアナウンスや、工夫があるとよりいいと感じた。
- 入出口が違う事や受付後また並んで入場するなど事前のお便りの内容とマチコミの内容が違い混乱した。
- 入口と出口が分かりにくかった。
- 観覧席をもっとわかりやすくしてほしい。
- 兄妹がいる場合続けて観覧ならいいが、間が1時間開くなら体育館や教室を待機所として開放して頂けるとありがたかった。
- 特に気になった所として、当日の先生方の配置、役割など、周知徹底されていたのか疑問。1・2年生退場の際、昇降口前のトラロープが張ったままだった。運営する上での危険予知並びに対応策と配置の周知徹底を強くお願いしたい。

【受付について】

- 受付ですぐに入らず、その後また入場するまでに並びその間はとっても密だった(8)
- 受付が済んだら校庭に入るようにした方がよい。
- 受付で並ぶ場所が2か所あったのが分かりずらかった。
- 受付は密になるので、受付される方にももう少し安全対策(フェイスシールドなど)をとるべきだと思った。
- 受付が済んだら、体育館など広い場所に(窓を開けて換気などして)移動して分散して待機した方がよい。

【全体を通して】

- 開催できて感謝している・よかった。(56)
- コロナだからこそのアイデアがたくさん詰まったとても素敵な運動会だった。工夫されていた。(2)
- 制限下、最善の運動会だった。(2)
- こどもの立ち位置を前もって教えてもらえたので、よく見ることができた。
- 今年、新調した法被を着た演技が見れなかったのは残念。
- 学年ごとかクラスごとで、ランドセル登校かどうか学校全体で足並みを揃えてほしい。
- ランドセルの代わりは何でも大丈夫なのか。
- チームで競う要素を取り込むと盛り上がりや活気という部分が増すかなと思った。もちろん今年はこのやり方(自己記録を意識する方法)が良かったと思う。
- 来年は例年通りになってほしい。(9)

【協議】令和3年度 学校行事の見通し

1. 特別遠足〔4～6年生の宿泊体験学習・修学旅行を日帰りの遠足に変更〕

	4年	5年	6年
時期・場所	4月の時点で遠足か宿泊か判断できているのであれば、6月でもよいが、どうするか悩む期間があれば、夏休み明けがよい。	三浦がよい。 大房日帰りはやることがない。 寒さを心配しない。台風が心配ない時期。	気候はちょうど良かった。 来年は6月に校外学習（東京見学）。10月に箱根だと社会的にはよい。
活動	今年度については、保護者も子どもも満足している結果だったので良い。 ダム放水があるのならば、計画に入れるべき。	大房は見学するところがないので、バリエーション不足。 三浦…ソレイユの丘 YMCA 砂浜の活動 市場・漁港 地引網可	ロープウェイは乗せてあげたい。大涌谷は見るべき。 箱根園はとても便利なので、そこで寄木、昼、買い物は◎ 関所は通り抜けるだけでもよいのでは？ 恩賜公園もよさそう。 海賊船より周遊船の方が外に出られてよい。
交通手段 移動		アクアラインが風で通行できなくなると厳しい	
来年度の 予定	6月15日（火） 16日（水）	6月21日（月） 22日（火）	7月4日（日）、5日（月） ※ キャンセル料がかからない2月までに確定



来年度の方角性

- 来年度も状況が変わらないことには、宿泊の実施は難しいと考え、今年の反省・振り返りをもとに、来年度も特別遠足で考えている。
- 実施時期は、宿泊体験学習の日程を入れている6月、7月。
- 6年生の箱根に関しては、10月に行くことも検討中。

2. スポーツフェスティバル

令和2年度のスポーツフェスティバルを無事に終えることができました。コロナの状況の中でも、大口台小学校として今現在で出来る策を講じながら取り組んできました。

6年生や5年生を中心に、「子ども主体で運営を行ったこと」「活動の制限があるなか、できる限り工夫しながら取り組めたこと」など、成果もありました。

一方で、来年度に向けて見えてきた課題もたくさんありました。

そこで、アンケート結果をもとに来年度の大まかな運営方針を以下の形で進めていきたいと思ひます。

	来年度の運営方針
日時、日程について	<p>○ 来年度も平日開催で行う</p> <p>⇒ 平日開催にすることで、保護者の方の負担（お弁当）が大幅に軽減され、学校で給食を食べることができるから。</p> <p>⇒ 混雑せずゆったりと演技や競技を見ることができるから。</p>
会場や観覧場所の設定について	<p>○ 今年度を軸に、さらに改善してより良い会場や観覧場所等を設定していく</p> <p>※ 学校全体で、今年度の反省点を踏まえて、協議を重ねより良くしていきます。</p>
全校開催からブロック開催への変更について	<p>○ 2学年でのブロック開催で行う</p> <p>⇒ 2学年ごとのブロック開催は、児童の負担も少なくなるから。</p> <p>⇒ 新しい様式での開催で、全体的にコンパクトな形で進めることができる。また、密状態も回避できるから。</p>
競技種目の変更について	<p>○ 1～2種目増やせるか、状況に応じて柔軟に検討する</p> <p>⇒ 学年やブロックで、密状態を避けた中でできる「団体競技」を工夫する。 <u>例：2～3人のチームを作り、対戦形式で綱を引っ張り合う。その際、手袋をしていれば接触関係のことを心配しなくてもよくなる。チームの中でも感覚をとって並べば、ソーシャルディスタンスも保てる。</u></p> <p>⇒ 学年 or ブロックで用具の受け渡しをしなくてもできる「リレー」の方法を考えて実施する。 <u>例：一人一つバトンをもち、テイクオーバーゾーン内で、次の人が持っているバトンの端を走りながら「触れる or 叩く」ことでバトンパスを行ったことにする。そうすれば、用具の受け渡しをしなくても済む。もしくは、手袋をつけてバトンパスを行えば、用具の受け渡しをしていたとしても接触していないため安全。</u></p>

様々なご意見をいただき、本当にありがとうございました。「開閉会式のこと」「観覧方法や場所について」「お知らせの仕方」「会場について」「受付のこと」等、たくさんのご意見は、職員全体で共有して来年度に向けて改善していきたいと思ひます。

【再】令和2年度 大口台小学校運営協議会 運営計画について

【日程と内容】

- 7月14日(火) 職員会議で学校運営協議会設置についての共通理解を図る
- 7月21日(火) 学校運営協議会「設置準備委員会」(学校づくり懇話会)…提案資料作成
資料:表紙・次第・委員名簿(三田) 学校経営について(校長)
年間行事予定(山本) 学校予算(副校長・事務)
地域学校協働支援活動事業について(学校地域コーディネーター)
学校運営協議会年間計画(三田) 学校運営協議会設置申請書(副校長)
- 7月21日(火) 学校運営協議会設置準備委員会(学校づくり懇話会)…検討と協議
〈校長・副校長・三田・山本・地域コーディネーター・PTA会長〉
学校づくり懇話会の終了について 設置準備手続きについて
申請書(校長)の内容検討(委員選考含む) 保護者・地域への説明
- 7月22日(水) (旧)学校づくり懇話会委員に「挨拶状」「委員選考(推薦書)」発送
「委員選考」に係る承認依頼
- 7月28日(火) 「委員選考」承認書返送締切
- 7月30日(木) 教育委員会事務局に「申請書」を提出

10月1日(木) 横浜市立大口台小学校 学校運営協議会 設置

10月12日(月) 第1回 学校運営協議会 16:00~
委員委嘱 学校経営方針説明 運営計画

10月21日(水) 第2回 学校運営協議会【★運動会参観】

11月19日(木) 第3回 学校運営協議会 16:00~
令和2年度 学校行事等の見直し
遠足・運動会保護者アンケート結果
教育活動の具体的な取組
令和3年度 学校行事等の見通し

12月7日(月)~11日(金)

第4回 学校運営協議会【★校内作品展参観】

2月27日(土) 第5回 学校運営協議会 10:00~
授業参観・学校運営報告・学校地域協働支援本部活動報告・
いじめ防止対策委員会報告・学校評価・意見交換
意見書作成について

《令和3年度》

学校行事(儀式等への参加含む)協議会(年3回;5月・10月・2月)

～2020年度 学習内容と授業時数について～

感染症拡大防止の為の変更

大口台小学校では、今年度当初の「全国一斉臨時休業」を経て6月の学校再開以降、予定していた学習内容を「横浜市学校再開ガイドライン（横浜市教育委員会）」に則って変更してまいりました。

1 「学習内容」について

密集、密閉、密接、いわゆる「三密」の恐れがある学習内容や活動については、次のように内容を変更するか実施を見送ることにしました。

教科等	実施できない 活動内容・「単元名」・学習内容	対応
学校行事	始業式・終業式・着任式	全校児童が集合する儀式をテレビ放送等に変更し、時間短縮。前期終業式、後期始業式は中止。
	防犯・防災訓練	各学年、各階での実施。全児童の集合避難は中止。
	1年生を迎える会、全校遠足	全国一斉臨時休業中のため中止。
	泊を伴う行事（修学旅行・宿泊体験学習）、遠足	バスの増車（座席数増）、宿泊は日帰りに変更 4・5組；区合同宿泊学習は中止
	集会活動	全校児童が集合する集会は中止。TV放送に変更。
国語	音読	全員前向きでマスクを着用しての実施。音読劇は間隔を十分にとる。身体接触のある音読劇は見送り。
	グループ活動	単元を精選し、時数を削減。対面が必要な場合は間隔を十分にとる。全員前向きでの全体・ペア交流を主とする。
算数	共用器具での活動	共用器具の消毒をじゅうぶんに行う。
社会	工場、スーパーマーケット、消防署などの屋内施設の見学	出前授業や写真、映像などを使った学習に変更。
理科	実験や観察での器具（顕微鏡・ルーペなど）の共用	器具を個別に用意するか、接触がある共用器具は事前事後に消毒するか、使用を中止。
総合的な 学習の 時間	3年 「お店体験」	校外に出て、集団での体験・交流活動は中止。日常の中での見学や体験から地域とできる活動に変更。 全体活動やグループ活動などは、活動時の間隔を十分にとって実施。
	4年 「盲特別支援学校との交流」 地域交流（たちばな会給食会）	
	5年 グループ活動	
	6年 地域活動	
生活	グループ活動	少人数グループにし、活動時の間隔を十分にとって実施。
	まち探検などの校外学習	中止。公園等の探検は活動時の間隔を十分にとって実施。
音楽	歌唱	マスクを着用し、声を出す向きに留意して歌う。
	器楽（リコーダー・鍵盤ハーモニカ等）	個人所有の楽器（吹き口）のみ使用。 演奏する場面ではマスクを外し、演奏後はすみやかにマスクを着用。鍵盤ハーモニカ本体の吹き口と接続部分を、個人が使用するごとに消毒。
	器楽（学校所有の楽器）	活動前後の手洗いを徹底。マレットなど消毒が可能な器具は、手が触れる部分の消毒。
図画工作	共同制作	個人製作のみ実施。用具の共用をできるだけ避け、事前事後の消毒を徹底。
家庭科	調理活動	実習を中止し、家庭での活動と連携。

体育	水泳（プールでの水遊び）	実施見合わせ（全市）。
	ボール運動・ゲームのうち身体接触が予想される種目	対面または一方向のボールゲームのみ実施。 （ソフトバレーボール、的あてゲームなど）
	器械運動（マット・跳び箱）	用具の共用や用具への身体接触が想定されるため見送り。
	体づくり運動のうち身体接触（手をつなぐ、抱える、背負うなど）がある動き表現、ダンスのうち身体接触がある動きや演技	内容（動きや構成など）の変更。
英語 YICA	グループ活動・ペア学習	全員前向きでマスクを着用しての実施。 対面が必要な場合は間隔を十分にとる。 全員前向きでの全体・ペア学習を主に実施。

2 「授業時数」の設定について

「学校再開」に伴い、6月の分散登校（午前・午後の二部制）、短縮登校（給食なしの午前授業）、7・8月の特別時程授業（40分授業）をもって、子どもたちの生活や学習の状況を整えてまいりました。

その後、9月からは授業時間を通常の45分に戻しています。

学習内容や活動の変更に伴い、各学年での学習・活動時間を概ね次のように変更します。

学年	年間標準時数 (学習指導要領に示された時数) 【 】内は大口台小学校で設定した 学校行事・クラブ活動・委員会活動等	基準時数 (実施可能な学習・活動内容の時数)	3月まで5校時授業を行った場合の 年間実施予定時数 ※1・2年生は時数変更なし
1年	870【43】 ※YICA含む	692【19】	873【19】 (基準時数比 +181)
2年	930【41】 ※YICA含む	729【18】	917【18】 (+188)
3年	980【40】	815【15】	942【15】 (+127)
4年	1015【58】	787【28】	958【28】 (+171)
5年	1015【73】	795【35】	961【35】 (+166)
6年	1015【71】	757【36】	961【36】 (+204)

大口台小学校では、学習・活動内容や学校行事を整理した結果、「全国一斉臨時休業」等で履修できなかった学習を行ったうえ、授業時数の確保ができる見通しとなりました。

できない内容や活動は代替の学習・活動としたり、延期をしたりしますが、実施可能な学習・活動は時数等を増やして充実させていきます。

以上の結果を踏まえて、11月9日（月）以降の日課表を次のように変更します。

1・2年は変更なし。

3年以上は毎日5時間授業【クラブ活動設定日以外（4～6年生）】とします。